

第2部パネリスト紹介

海上自衛隊幹部学校副校長 山本

皆様、こんにちは。本日は連休の中日であるにもかかわらず、多くの方々にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私は当シンポジウムの事務局長であり、第2部の司会を務めます、海上自衛隊幹部学校副校長の山本でございます。

この海洋安全保障シンポジウムは防衛省と海洋政策研究財団との共催で、内外の有識者及び海事関係機関関係者による議論を通じて、グローバルな海洋安全保障の重要性について考えるものであります。

第2部につきましては「海洋安全保障の課題と国際協調への展望」と題し、防衛省、外務省で実務についていらっしゃる方々、さらに国外から日頃、安全保障に携わっている方々をお迎えし、海洋安全保障にかかる問題の多様化、複雑化、グローバル化が進む中、各国との協調がますます重要視されるであろう将来の安全保障上の課題や海軍力に期待される役割等について自由闊達、忌憚のない意見をお聞かせ願いたいと考えております。

第2部の開始に先立ちまして討論者の方々を紹介いたします。まず、順不同ではございますが、在日米海軍司令官、ダン・クロイド海軍少将。在京英国大使館付国防武官、アンディ・エドニー海軍大佐。在京オーストラリア大使館、エイミー・ホーキンス1等書記官。そして、海上幕僚監部、指揮通信情報部長、大塚海夫海将補です。

そして、外務省、石井正文地球規模課題審議官。防衛省から、西正典防衛政策局長です。

それでは早速ですが、討議を始めたいと思います。初めにご参集のパネリストの皆様から今回のテーマに関連した発表を行っていただきます。なお、大変恐縮ですが、時間に限りがございますのでお1人10分以内を目途にお願いいたします。

まずは身内からということで、海上幕僚監部、指揮通信情報部長の大塚海将補にトップバッターを務めてもらいます。では、お願いします。